

■実証実験期間中の事業評価について

1. 飛島公共交通バスの事業評価

○事業背景・目的

飛島公共交通バスについては、平成20年度まで三重交通バス及び飛島バスが運行されていたことを鑑み、持続可能な事業を目指すと共に、サービスの高度化が期待される。

○評価指標

指標1：運行経費に占める運賃収入割合の向上（対前年比プラス）

- ・事業の持続性確保のため、飛島村による事業経費負担の軽減、運賃収入割合の向上を目指す。

指標2：利用者満足度の向上

- ・ルート変更や新規設定のバス停位置等に対する評価等、利用者の満足度調査を行い、事業の改善を目指す。

2. 飛島コミュニティバスの事業評価

○事業背景・目的

飛島コミュニティバスについては、新たな事業であることを鑑み、バス事業の普及定着と住民ニーズへの的確な対応を目的とする。

○評価指標

指標1：実証実験における乗降者数の推移にみる必要性評価（対前年比プラス）

- ・事業の必要性、事業の定着を確認するため、実証実験期間中における乗降者数の推移を確認し、利用者の増加（対前年比プラス）を目指す。

指標2：全利用者に対する新規利用者の割合

- ・事業内容の大幅な変更も視野に入れ、利用者に対する調査から、利用者の満足度ではなく、新しい利用者がどれだけ増加したかを確認し、事業の普及・定着を目指す。

3. 海南病院通院支援タクシーの事業評価

○事業背景・目的

海南病院通院支援タクシーについては、新たな事業であることを鑑み、構築の考え方で示しているように、アンケート調査によるニーズをふまえた通院支援を目的とした、新規事業化を目指す。

○評価指標

指標1：実証実験における利用者数の推移にみる必要性評価（対前年比プラス）

- ・事業の必要性、事業の定着を確認するため、実証実験期間中における利用者数の推移を確認し、利用者の増加（対前年比プラス）を目指す。

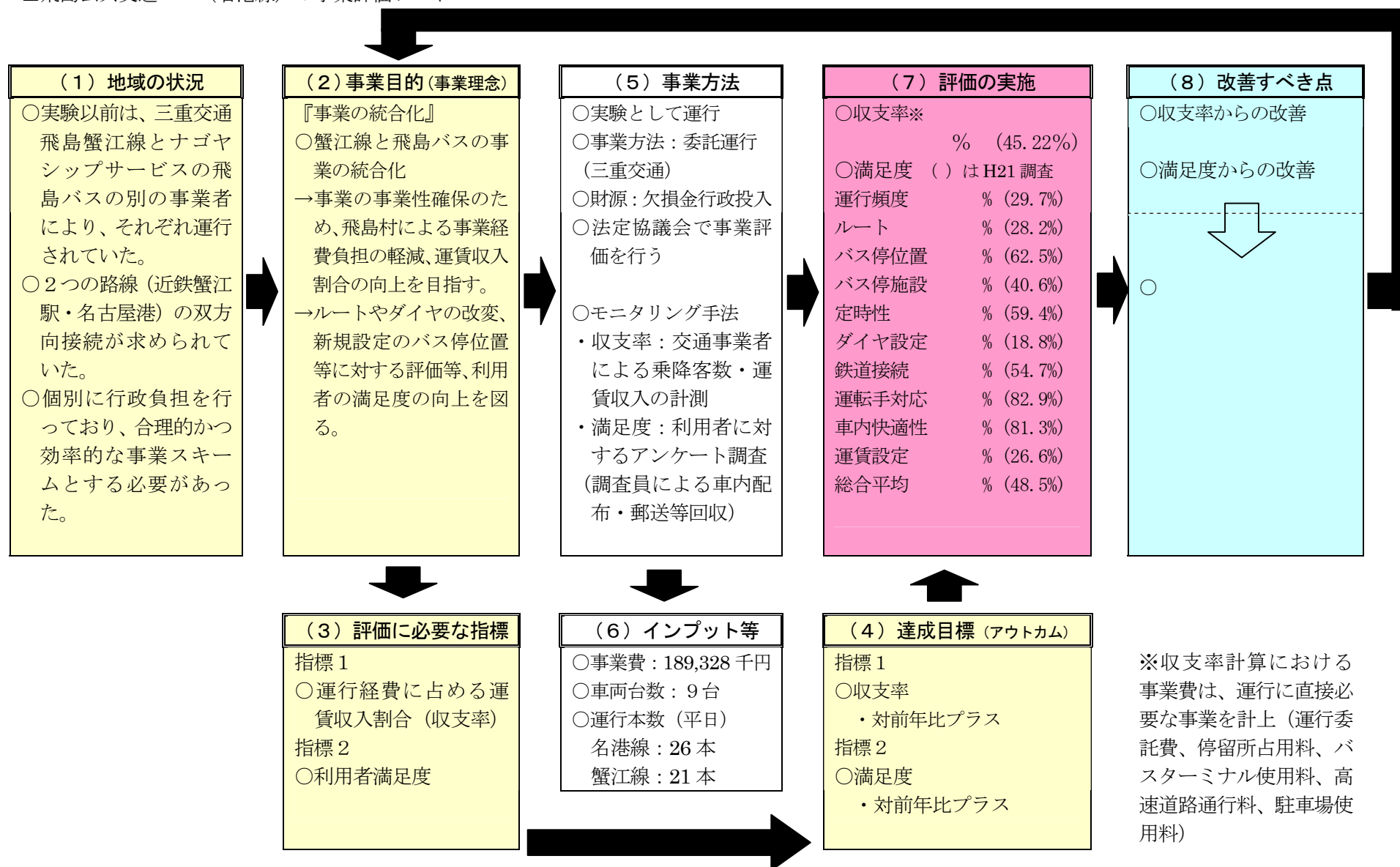
指標2：運行経費に占める運賃収入割合の向上（対前年比プラス）

- ・新規事業の事業性の担保から、事業経費負担の軽減、運賃収入割合の向上を目指す。

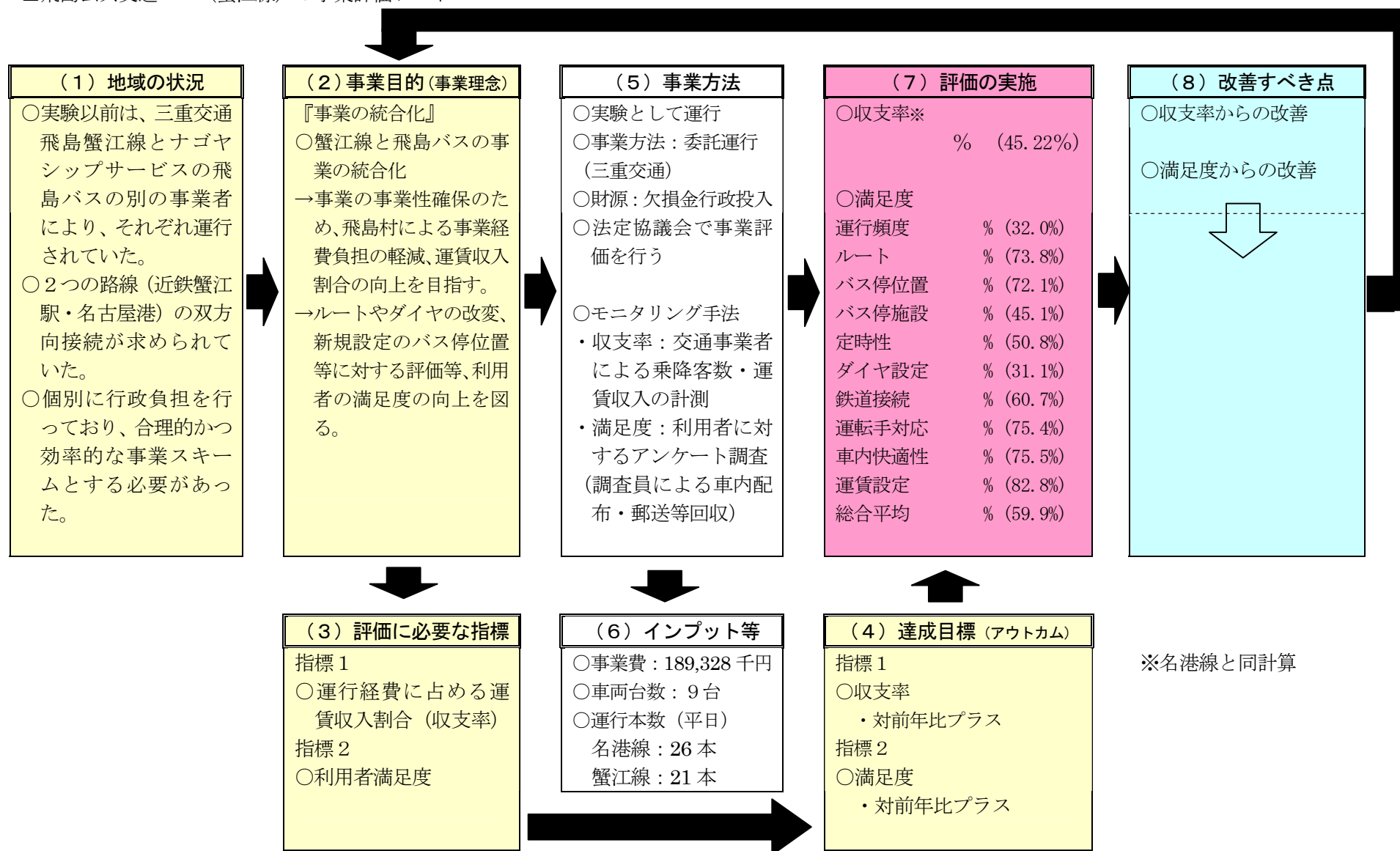
指標3：全利用者に対する新規利用者の割合

- ・利用者に対する調査から、利用者の満足度ではなく、新しい利用者がどれだけ増加したかを確認し、事業の普及・定着を目指す。

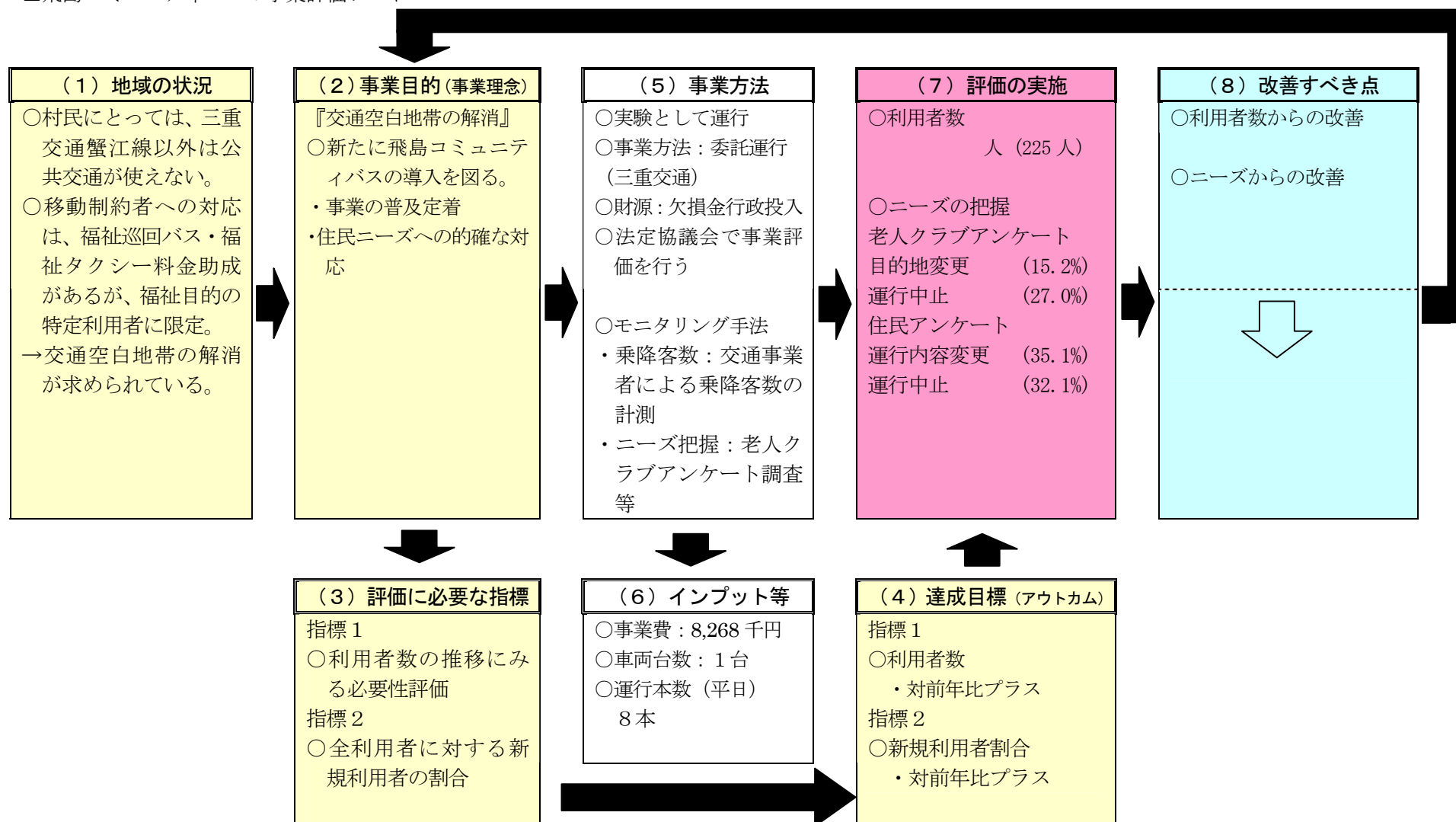
■飛島公共交通バス（名港線）の事業評価シート



■飛島公共交通バス（蟹江線）の事業評価シート



■飛島コミュニティバスの事業評価シート



■海南病院通院支援タクシーの事業評価シート

